

疾病治療論Ⅶ：練習問題

講義資料1 P1～P7

設問A：以下の問いについて○か×で正誤を答えよ。

- ① DSMは精神疾患の診断基準である。
- ② 国際疾病分類〈ICD〉には、身体的な病気だけでなく、精神および行動の障害も含まれる。
- ③ 意識清明は、自身と外界の認識が正常に保たれている状態である。
- ④ 意識狭窄は、軽度の意識混濁を背景として意識野が狭まる状態である。
- ⑤ 意識変容は、複雑な意識障害で、意識の質的な変化を伴う。

設問B：以下の問いに答えよ。

問題1：意識障害はどれか。2つ選べ。

- 1 昏睡 2 制止 3 せん妄 4 思考途絶 5 フラッシュバック

問題2：思考の障害はどれか。2つ選べ。

- 1 迂遠 2 幻聴 3 昏迷 4 思考制止 5 抑うつ気分

問題3：知覚障害はどれか。

- 1 幻味 2 離人症 3 注察妄想 4 観念奔逸

問題4：Aさん（22歳、男性）は、統合失調症と診断され、昨日入院した。話している内容にまとまりや関連がなく、話の前後に脈絡がない。Aさんの思考状態として考えられるのはどれか。

- 1 観念奔逸 2 思考制止 3 連合弛緩 4 強迫観念

問題5：統合失調症にみられる妄想はどれか。2つ選べ。

- 1 罪業妄想
- 2 心気妄想
- 3 追跡妄想
- 4 被毒妄想
- 5 貧困妄想

問題 6：転移感情の「陽性転移」はどれか。

- 1 患者側から医療者側に向ける不信の感情
- 2 患者側から医療者側に向ける信頼の感情
- 3 医療者側から患者側に向ける嫌悪の感情
- 4 医療者側から患者側に向ける感謝の感情

問題 7：Aさんは、特定の相手に対して「とても尊敬しています」と過度に好意を示すこともあれば「あなたは最低だ。嫌い」と嫌悪感を同時に訴えることもある。

Aさんに現れている現象はどれか。

- 1 否認
- 2 逆転移
- 3 アンビバレンス〈両価性〉
- 4 エディプスコンプレックス

資料1 P11～P14

問題 1：精神科の初診外来を受診した A さん（25 歳、男性）。「体がだるくて動けない」と訴え、うつ病の疑いでアセスメントを行うことになった。看護師が精神症状の悪化を判断する外見の指標として、最も優先度の高い観察項目はどれか。

- 1 瞳孔の大きさ
- 2 衣服のブランドや好み
- 3 身長と体重のバランス
- 4 季節に合わない服装や更衣の有無

問題 1：脳波検査が診断・治療に有用な疾患はどれか。

- 1 うつ病
- 2 てんかん
- 3 総合失調症
- 4 パーソナリティ障害

資料 1 P21~P25

問題 1：精神科における支持療法について適切なのはどれか。

- 1 無意識下の葛藤を分析し、解釈を伝える。
- 2 治療者は受動的な立場を保ち、助言を控える。
- 3 患者のパーソナリティを根本から変えることを目的とする。
- 4 現実のストレスに対する対処能力を補い、自己決定を手助けする。

問題 2：認知行動療法で最も期待される効果はどれか。

- 1 自分で緊張を和らげることができる。
- 2 物事に対する誤った信念が修正される。
- 3 人間の生きる意味を感じとることができる。
- 4 薬物療法などの治療についての理解が深まる。

問題 3：修正型電気けいれん療法について正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 磁気を用いる。
- 2 局所麻酔下で行う。
- 3 筋弛緩薬を用いる。
- 4 発生頻度の高い有害事象は骨折である。
- 5 希死念慮が強く、緊急を要するうつ病患者は適応となる

問題 4：精神科リハビリテーションにおける作業療法〈OT〉の目的として適切なのはどれか。

- 1 知能指数の向上
- 2 生活リズムの確立
- 3 疾患の根本的な治癒
- 4 家族の介護負担の免除

資料2 P5~P13

設問A：以下の文章には全てに誤っている箇所がある。誤っている箇所に下線を引き、正しい言葉に修正して文章を完成させろ。

- ① 抗精神病薬の「座ってられない」と訴える副作用はジストニアである。
- ② 抗精神病薬の「手足が勝手に動く」と訴える副作用はアカシジアである。
- ③ 抗精神病薬の「痙攣・眼球上転」の副作用はジスキネジアである。
- ④ 抗精神病薬の副作用として、原因不明の発熱症状はパーキンソン症候群である。
- ⑤ 抗精神病薬の自律神経障害では下痢になる。
- ⑥ 抗精神病薬の自律神経障害では徐脈になる。
- ⑦ 抗精神病薬の自律神経障害では頻尿になる。

設問B：以下の問いに答えよ。

問題1：統合失調症の陰性症状はどれか。

- 1 作為体験
- 2 感情鈍麻
- 3 滅裂思考
- 4 被害妄想

問題2：統合失調症の陽性症状について、正しいのはどれか。

- 1 感情の平板化がみられる。
- 2 意欲が低下し、自室に閉じこもる。
- 3 誰もいないのに自分の悪口が聞こえる。
- 4 以前よりも無口になり、返答が遅くなる。

問題3：Aさん（25歳、男性）は、統合失調症と診断された。抗精神病薬の内服を開始した2日後、Aさんはそわそわして落ち着かず「足がムズムズする」と歩き回るようになった。

Aさんにみられている状態はどれか。

- 1 アカシジア
- 2 ジストニア
- 3 ジスキネジア
- 4 ミオクローヌス

問題4：抗精神病薬服用時の錐体外路症状に関与するのはどれか。

- 1 リチウム
- 2 ドパミン
- 3 グルタミン
- 4 マグネシウム

問題 5：A さん（20 歳、女性、大学生）は、両親と 3 人暮らし。統合失調症と診断され、抗精神病薬（オランザピン 10mg/日）による治療が開始された。治療薬開始して 1 週間経過後、A さんは突然 40℃を超える発熱あり。翌日も 40℃台 の高熱が続き、意識障害（JCS 300）が認められ、救急車で搬送され緊急入院となった。

身体所見：身長 160cm、体重 48kg。

体温 36.4℃、呼吸数 18/分、脈拍 76/分、血圧 124/70mmHg。

検査所見：クレアチンキナーゼ〈CK〉423 IU/L〈U/L〉、空腹時血糖 300mg/dL、

HbA1c5.0%、尿ケトン体（－）、Na142mEq/L、K5.2mEq/L、

総コレステロール 180mg/dL、HDL コレステロール 45mg/dL。

A さんの状況で最も考えられるのはどれか。

- 1 水中毒
- 2 悪性症候群
- 3 セロトニン症候群
- 4 糖尿病性ケトアシドーシス

問題 6：心理、社会的療法の中でロールプレイなどの技法を用い、対人関係で必要なスキル習得を図る療法はどれか。

- 1 個人精神療法
- 2 集団精神療法
- 3 生活技能訓練〈SST〉
- 4 心理教育的アプローチ

問題 7：統合失調症の急性期にある A さん（20 歳、女性）。「隣の部屋から私の悪口が聞こえる」と言い、耳を塞いで落ち着かない様子である。

この時の陽性症状に対する看護師の対応として、最も適切なのはどれか。

- 1 「私も聞こえます。怖いですね」と共感する。
- 2 「そんな声は聞こえませんよ」と事実を伝える。
- 3 「悪口が聞こえて、お辛いですね」と不安を受け止める。
- 4 「どんな内容か詳しく教えてください」と内容を掘り下げる。

資料 2 P15~P24

問題 1：うつ病にみられる妄想はどれか。2つ選べ。

- 1 罪業妄想 2 心気妄想 3 追跡妄想 4 被毒妄想 5 血統妄想

問題 2：典型的なうつ病の症状はどれか。

- 1 幻聴 2 感情失禁 3 理由のない爽快感 4 興味と喜びの喪失

問題 3：躁病でみられる症状はどれか。

- 1 連合弛緩 2 観念奔逸 3 思考制止 4 性欲減退

問題 4：うつ病の回復期に最も注意すべき症状はどれか。

- 1 希死念慮 2 思考制止 3 抑うつ気分 4 興味と喜びの喪失

問題 5：向精神薬と副作用（有害事象）の組合せで正しいのはどれか。

- 1 抗精神病薬 — 多毛
2 抗認知症薬 — 依存性
3 抗てんかん薬 — 急性ジストニア
4 抗うつ薬 — セロトニン症候群

問題 6：うつ病性障害に最も関係する神経伝達物質はどれか。2つ選べ。

- 1 ノルアドレナリン 2 アセチルコリン
3 メラトニン 4 セロトニン 5 ドパミン

問題 7：選択的セロトニン再取り込み阻害薬〈SSRI〉について正しいのはどれか。

- 1 パニック障害に対する効果はない。
2 抗コリン作用は三環系抗うつ薬よりも弱い。
3 うつ状態が改善したら直ちに使用を中止する。
4 抗うつ効果の評価は投与開始後 3 日以内に行う。

問題 8：薬物血中濃度モニタリング〈TDM〉の実施が必要な薬物はどれか。2つ選べ。

- 1 ヘパリン 2 インスリン
3 ジギタリス 4 炭酸リチウム 5 ニトログリセリン

資料2 P26～34

問題1：パニック発作で見られるのはどれか。

- 1 便秘
- 2 強い怒り
- 3 強い予期不安
- 4 間代性けいれん

問題2：心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉の症状や特徴について、適切なものはどれか。

- 1 特定の性格や遺伝的要因を持つ人にのみ起こる。
- 2 日常生活でのささいな出来事が原因で発症する。
- 3 症状が1か月以内に消失するのが一般的である。
- 4 原因となった出来事を繰り返し思い出す「再体験」がみられる。

問題3：強迫性障害の症状はどれか。

- 1 自傷行為を繰り返す。
- 2 自分には財産や貯金がないと考える。
- 3 戸締りやガス栓などを過剰に確認する。
- 4 「戸締りしなさい」という命令が外から頭の中に吹き込まれる。

問題4：森田療法について、適切なものはどれか。

- 1 過去のトラウマを想起させ、カタルシス（感情の浄化）を図る。
- 2 認知の歪みを修正し、合理的な考え方ができるように訓練する。
- 3 社会生活に必要な対人関係スキルを、ロールプレイなどを通じて習得する。
- 4 不安や症状を排除しようとせず、そのまま受け入れる「あるがまま」を重視する。

問題5：暴露療法（エクスポージャー法）の実施方法や対象について、適切なものはどれか。

- 1 主にうつ病の「意欲低下」を改善するために行われる。
- 2 強い不安を感じる対象を、徹底的に避けるように指導する。
- 3 患者がリラックスできるように、催眠状態を用いて過去の記憶を整理する。
- 4 不安が生じる場面にあえて身を置き、時間が経つと不安が下がることを体験させる。

資料3 P1~4

問題 1：神経性無食欲症（拒食症）の患者にみられる身体症状で正しいのはどれか。

- 1 高体温
- 2 高血糖
- 3 高血圧
- 4 無月経

問題 2：摂食障害における過食や自発嘔吐、下剤乱用によって生じる身体合併症はどれか。

- 1 低ナトリウム血症
- 2 高カルシウム血症
- 3 甲状腺機能亢進
- 4 頻尿

資料3 P7~10

問題 1：アルコール依存症の患者に発症するウェルニッケ脳症の直接的な原因はどれか。

- 1 ビタミンAの欠乏
- 2 ビタミンCの欠乏
- 3 ビタミンB₁の欠乏
- 4 ビタミンB₁₂の欠乏

問題 2：ウェルニッケ脳症の慢性期であるコルサコフ症候群の特徴的な症状はどれか。

- 1 視力低下
- 2 聴覚過敏
- 3 激越な暴力
- 4 記銘力障害〈健忘〉

資料3 P12~14

問題 1：てんかんの強直間代発作を起こしている患者への対応で、優先度が高いのはどれか。

- 1 体が動かないよう四肢を強く押さえる。
- 2 意識を戻すために大きな声で呼びかける。
- 3 舌を噛まないよう口の中にタオルを入れる。
- 4 周囲の危険な物を取り除き、安全を確保する。

問題 2：てんかんの治療方針について正しいのはどれか。

- 1 薬物治療の原則は、最初から多剤を併用することである。
- 2 全般発作に対しては、第一選択薬として抗精神病薬を用いる。
- 3 薬物療法を開始した後は、定期的に薬剤の血中濃度を測定する。
- 4 原因疾患（脳腫瘍など）がある場合でも、抗てんかん薬の投与を最優先する。